



小国中だより

小国町立小国中学校
令和2年12月18日
文責 八木幸夫

物の紛失が続いています

傘が見えなくなったとの保護者の方からの連絡をいただきましたが、その後。傘が戻ってきていたという報告がありました。その他にも傘の紛失があったという情報があり、全校生を対象にアンケート調査を行いました。その結果、今年度だけでも3年生で2件、1年生で1件の傘の紛失があったことがわかりました。当該生徒の保護者の方にも連絡し管理不行き届きについてお詫びいたしました。

本日の全校集会において、校長から全校生に物の管理について指導を行いました。

物が見えなくなった本人はもちろん保護者の方も、嫌がらせを受けているのではないかと不安や心配をされています。その意味では、「いじめ」にあたる行為です。また、個人の私物を意図的に無断で持ち出すことは、**刑法上の窃盗罪（10年以下の懲役または50万円以下の罰金）**もしくは**占有離脱物横領罪（1年以下の懲役または10万円以下の罰金）**にあたります。

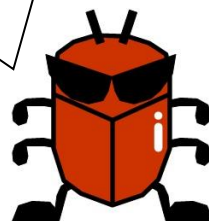
他人の持ち物には無断で手を触れないのはあたりまえのことです。

その上で・・・。

校内の物品の管理について

- 個人の持ち物については全て記名します。
- 教室を空ける際に、机上には物を出しっ放しにしません。
- 机の中、ロッカーは常に整理整頓しておきます。

無断借用は犯罪です。「傘ぐらいなら大丈夫・・・」は通じません。



傘の管理について

- ビニール傘でも**フルネームで記名**する。自分がわかるようにするためのイニシャルやマークではなく、フルネームで記名する。コンビニで購入したようなビニール傘には記名したがない風潮があるようですが、必ず記名をお願いします。または、記名されていない傘は登下校に使用しないようにお願いします。
- ビニール傘は特徴がなく、取り違えられやすいものです。また、コンビニ等でも手軽に手に入ることから安価なイメージがあり、無断借用の対象になりがちです。**通学には可能な限り、ビニール傘を使用しないようにお願いします。**
- 学級毎の傘立てに保管し、下校時に必ず持ち帰ります。
- 下校の際に雨が降って傘が必要な場合は、学校の貸し出し用のレンタル傘を使用して下校します。次の日に学校に返却してください。

傘の紛失が毎年繰り返されています。傘を無断借用することに罪悪感も持たないとしたら…。もう立派な犯罪者です。あらためて、ことの重大性を認識し、繰り返すことのないよう呼びかけたところです。ご家庭でも、繰り返し声がください。

令和2年度 卒業証書授与式の持ち方について

生徒会役員選挙が終了し、生徒会活動のリーダーが3年生から2年生に引き継がれます。例年この時期から生徒会新執行部を中心に、入試激励会や卒業式に向けた活動が進められていきます。

この動きにあわせて、来年3月16日（火）に予定している卒業証書授与式の持ち方を検討し、以下のように実施することとしました。

令和2年度 小国町立小国中学校 卒業証書授与式運営方針

実施期日 令和3年3月16日（火） **会場** 小国中学校体育館
参加者 卒業生 卒業生保護者（各家庭2名まで） 来賓（5名程度）
在校生代表 本校職員

運営について

- 新型コロナウイルス感染防止に万全を期しつつ、内容を精査し全体で1.時間程度で終了できるように配慮する。
- 細部については、今後、生徒、PTA役員と相談しながら検討していく。
- 卒業式前に、生徒会新執行部を中心に「お別れ会（仮称）」を計画し、全校生で卒業を祝福し、新たな決意を確認する場を設ける。

3年生には、12月17日の学年活動の中で方針を説明し、理解を求めました。12月18日の全校集会では、全校生に方針の説明を行ったところです。Withコロナの時代の本校の新たな卒業式のスタイルを生徒ともに考えて参ります。保護者の皆様にもご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

推薦入学希望者の面談を行いました

私立高校の入試では、1月下旬から2月上旬の一般入試に先立って、中学校長の推薦による推薦入試が行われています。今週3日間にわたって、校長が推薦入試での受験を希望する生徒と面談し、その学校を志望する理由、中学校生活で努力して取り組んできたこと、生徒の希望に対する保護者の考え等を確認しました。それぞれの生徒が、しっかりとした目標をもって志願していることを確認することができました。希望進路に向けて強い意志で入試に向けて努力して欲しいと思います。また、面談した生徒には次の3点を特に話をしました。

- 1 私立高校で学ぶと言うことは、経済的な面、早朝の弁当づくり、送迎など様々な面で家族に負担をかけることになる。その負担を家族は強い決意と覚悟で受け止めてくれる。家族への感謝を忘れず、強い決意と覚悟を持って入試に立ち向かい、高校生活をおくって欲しい。
- 2 校長推薦で受験することは、小国中学校とその卒業生、後輩達に対しても責任が生まれることである。その責任を自覚して欲しい。
- 3 結果は努力の後についてくる。自分自身に自信を持ち、努力することを忘れないで欲しい。